

！！総会・車椅子贈呈・学術講演会・懇親会が盛大に開催された！！

会 長 松木 茂夫

今年は特に全国的に熊の出没や人身被害が相次いでおり住宅地や・観光地にまで目撃情報が報告されています。2025 年の「今年の漢字」は「熊」でしたが、今年 2026 年も馬（午）年ですが、暫くは熊騒ぎの話題は続きそうである。住宅地にまで出沒しているので遭遇しないことを祈るばかりである。

今年 2026 年の干支は「丙午」（ひのえうま）（60 年に一度）は火の性質をもっていると言われており、情熱や変革のエネルギーが最大級に高まる年であり。新しいことに果敢にチャレンジする事が最適な年ともいわれています。

東京豊洲史上初競り（2026/1/5）は青森県大間産のクロマグロ（243Kg）が史上最高値の 5 億 1030 万円で落、記録を更新しました、この一番マグロは「すしざんまい」を展開する喜代村の「マグロ大王」木村清社長が競り落とした（中大法学部卒）。通常の価格で販売されたようすが一口味わってみたいものである。

ホルムズ海峡についてもナフサゆかりの製品の価格上昇も不透明な状況が続きそうであり喜納係る所である。

一方、102 回箱根駅伝は総合 5 位であった、下馬評を覆せなかったが、来年度に大いに期待したい。

大学では今年度から始まる中長期計画の策定（2035 白門飛躍募金）（新たな伝統を繋ぐそして次の 150 年へ）・融合型教育（文理融合）の展開として新学部開設（多摩キャンパス内開校予定：2027/4 スポーツ情報学部：2028/4 情報農学部）・理工学部の再編成（理工学術院：基幹理工学部・社会理工学部・先進理工学部）に再編成）。新学部が開校すると 12 学部となる。総合大学・総合学園（12 学部・大学院 8 研究科・専門職大学院 2 研究科・4 付属高校・2 付属中学・9 研究所となる）として、地域や社会との交流を積極的に進め、開かれた中央大学として持続可能な社会実現に貢献していく計画です。

今年度の定時総会に於ける提案議案すべて満場一致で承認されましたことを報告いたします。

総会議案

第一号議案 2025 年度事業報告：第二号議案 2025 年度収支報告・2025 年度監査報告：第三号議案 2026 年度事業活動計画（案）・第 4 号議案（2026 年度収支予算（案））・第五号議案 役員一部補充・第六号議案 その他迄滞りなくご承認いただき感謝申し上げます。議事録として掲載します。

社会貢献活動として、毎年実施している車椅子の贈呈を三田村有也川崎市筆頭副市長様にご来席を頂き目録を贈呈し川崎市からは感謝状を頂いた。

車椅子（第 7 回目・No.7）は川崎市から寄贈先：特別養護老人ホーム 「わらく桃の丘」（宮前区野川本町）寄贈された



車椅子贈呈式：三田村有也川崎市筆頭副市長・
松木茂夫支部長



贈呈した車椅子

今回、総会・車椅子贈呈式には大学から大村雅彦理事長がご臨席されご挨拶を頂いた。



学術講演会是一般の方々を含め約 80 余名が参加され熱心に聞いていた。中央大学理工学術院長庄司裕子先生による「SNS やアンケートで、人の本音はどこまで見える？」をテーマとして講演を頂いた



懇親会においては一龍齋貞奈講師の流暢な司会進行であった。



県下7支部白門会（横浜・藤沢・平塚・小田原・大和・相模原・厚木）都区内3支部（世田谷区・太田品川区・墨田区）から支部長はじめとして多数の方々のご参加を頂いた。



支部会報原稿の寄稿等でご協力いただきました会員の皆様に心から感謝申し上げます。

今後共会員皆様方の積極的な原稿の寄稿をお願い致します。大石克義副幹事長には Hp 掲載等ご協力に御礼申し上げます。